

海外研修プログラム（神戸大学 国際人間科学部）

国際人間科学部では、学生の皆さんが海外での研修や留学を通じて将来グローバル社会で、国際的に活躍するための様々な機会を用意しています。

・海外協定校への留学・海外実習・海外インターンシップ

神戸グローバルチャレンジプログラム

アジア・フィールドワーク コース

神戸グローバルチャレンジプログラム

1、2年生の1つのクォーターや長期休暇を「チャレンジターム」として設定し、その期間に学生が国際的なフィールドで学外活動を行うプログラムです。このプログラムの一環として、国際人間科学部では「アジア・フィールドワークコース」を開設しています。

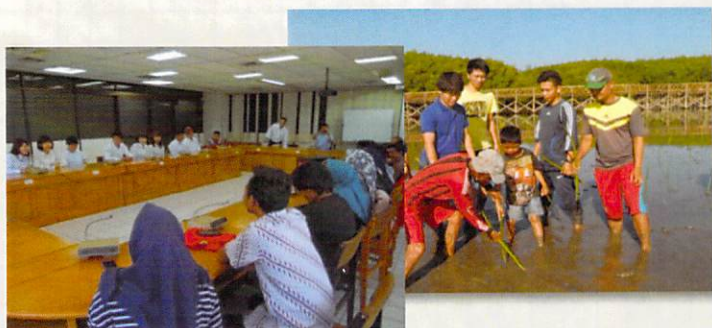
*クォーターは、1年を4期に分けた8週間の授業期間を指します

■ アジア・フィールドワークコース

世界では国や地域を超えた紛争、環境、感染症など様々な問題が起きています。これらの問題は、各地域の生態系、社会、歴史的背景など、多くの要素が複雑に絡み合っており、その理解と解決に向けて自然・社会・人間の科学を融合したアプローチが必要不可欠です。このコースでは、神戸大の異なる学部の学生同士が海外現地の大学生たちとともに、地域が直面する環境問題・社会問題を自らが企画したフィールドワークを通して、より深く理解することを目指します。

2016年度 インドネシア・プログラム

2016年度は、インドネシアの漁村においてホームステイをしながら、村落調査や植林活動などの体験型プログラムを行いました。



2017年度 中国（上海）・プログラム

2017年度は、中国の上海およびその近郊エリアでフィールドワークを行い、中国太湖の水域環境問題に関する調査活動を行いました。



2018年度開講

アジア・フィールドワークコース（インドネシア）

「リアウ・プログラム」

多民族国家の教育現場を通じた
異文化交流

派遣期間：8月20～8月30日

リアウ州の海上集落における学校現場を訪ね、共通言語の無い状態で、現地の学生との交流を企画・実践します。また、短期のホームステイ経験やフィールドワークを通して、言葉や宗教、文化の異なるコミュニティにおいて自己表現方法を学びます。

「スラウェシ・プログラム」 小規模漁業体験を通じた漁村コミュニティとの文化交流

派遣期間：9月15～9月25日

南スラウェシ州の漁村においてホームステイをしながら、村落調査や植林活動などの体験型プログラムを行います。後半では、これらの活動を通して学生自らが立案したフィールドワークを遂行しながら地域の魅力や課題を見つけ、住民や現地の大学生と共に地域おこしプロジェクトを企画し課題解決型アプローチを学びます。



応募方法・スケジュール

- ◆ 神戸大学の全学部が参加（応募）することができます。
- ◆ 海外での研修に向けた「事前学修」、海外でフィールドワークを行う「学外活動学修」、学外での活動内容を振り返り報告書にまとめる「事後学修」から成ります。

4月～5月

募集

各プログラムごとに最大10名までの参加者を募集します。

6月～7月

事前学修

安全や健康管理、及び文化やマナーなどについて学習を行います。

8月後半

学外活動学修

インドネシアにおいてフィールドワークを行います。

9月後半

10月

事後学修

学外活動学修を振り返り、報告書の作成などを行います。

アジア・フィールドワークコース

* 参加学生の事務手続きは国際人間科学部 GSPオフィスが担当します

学部からのメッセージ

2017年度に発達科学部と国際文化学部の再編統合により、「国際人間科学部」が生まれました。本学部では、グローバル社会に起きる環境、災害、経済格差、人権、教育などの様々な課題を、深い人間理解と他者への共感を持って解決し、「グローバル共生社会」の実現に貢献する「協働型グローバル人材」の養成を目指しており、「アジア・フィールドワークコース」を含めて、これまでの海外での学修プログラムをより発展・充実させてゆきます。

神戸グローバルチャレンジプログラム

アジア・フィールドワークコース

問い合わせ先：神戸大学サイエンスショップ

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲3-11

TEL：078-803-7979

E-mail：ss-stf@radix.h.kobe-u.ac.jp